



学校教育目標

芽 ぼ え 輝 く ～ 未 来 を 拓 く 5 つ の 芽 ～

R8.10.13 発行

元気な子(たくましさの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しさの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまりを守る子(信頼の芽)

後期が始まりました。学校では、前期と後期の間に大きな休みがあるわけではありません。そのため、子どもたちにとっては「今日から後期」と言われても、少し実感がわきにくいかもしれません。けれども、この区切りには大切な意味があります。それは、これまでを振り返り、これからを考える機会になることです。

前期を振り返ってみると、子どもたちは毎日の学校生活の中で、実に多くのことを経験してきました。新しい学年での生活、授業を通して分かるようになったこと、係や当番で任された仕事、友達と一緒に何かをやり遂げたこと。時には、思うようにいかず、悔しい思いをしたこともあったでしょう。

学校生活では、「何を経験したか」も大切ですが、それ以上に大切なのは、その経験を次にどう生かすかだと思います。一つ一つの経験は、それだけで終われば「出来事」です。しかし、その経験から何かを学び、次の行動につなげることができれば、それは「成長」になります。

後期は、そんな「つなげる力」を大切にしてほしいと思っています。これから、学習も行事もさらに充実していきます。楽しいことばかりではなく、難しいことや、思い通りにならないことに会うこともあるでしょう。それでも、これまでの経験が無駄になることはありません。

子どもたちが、一つ一つの経験を次へとつなげながら、自分なりの一歩を重ねていく後期にしていきたいと思っています。

私たち教職員も、子どもたちの「今」だけを見るのではなく、その子がこれまで積み重ねてきた経験や努力を大切にしながら、一人一人の成長を支えてまいります。

後期も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 全校朝会

10/13

○校長先生の話

今日から、後期が始まります。「後期が始まる」と聞くと、「よし、今日からまた新しく頑張ろう」と思っている人もいないかもしれません。もちろん、それはとてもよいことです。でも、今日は一つ、みなさんに覚え

ておいてほしいことがあります。

それは、「後期は、ゼロからのスタートではない」ということです。みなさんは、4月から今日まで、たくさんのかたちを経験してきました。勉強で、「前はできなかったけれど、できるようになったこと」。友達との生活の中で、「こんな言い方をすると、相手がうれしいんだな」と分かったこと。係や当番、行事などで、「自分にもこんなことができるんだ」と気付いたこと。もちろん、「もう少しこうすればよかったな」と思うこともあったでしょう。でも、それも大切な経験です。

例えば、一度道を間違えた人は、次に同じ場所へ行ったとき、「こっちへ行くと間違える」と分かります。失敗したからこそ、次の道が分かる。これは、とても大切なことです。だから後期は、前期を全部リセットして、ゼロから始めるではありません。前期にできるようになったことも、うまくいかなかったことも、全部持って、次へ進むのです。そう考えると、みなさんは4月の自分より、少し強くなった自分、少し賢くなった自分で、今日をスタートすることができます。

そこで、今日、みなさんに一つだけ考えてほしいことがあります。「後期の自分に、一つだけ足すとしたら、何を足しますか？」もう少し話をよく聞く。自分からあいさつをする。困っている友達に声をかける。苦手な勉強から逃げずにやってみる。係の仕事を進んで行う。大きな目標でなくてもかまいません。一つでいいのです。小さな「一つ」を毎日続けると、半年後には大きな違いになります。

宝小学校の教育目標は、「芽生え輝く ～未来を拓く5つの芽～」です。芽は、ある日突然、大きな木になるわけではありません。毎日少しずつ、水をもらい、光を浴び、根を伸ばしていきます。

みなさんも同じです。今日からの一日一日で、自分の中にある「芽」を、少しずつ育てていってください。後期が終わるころ、「前の自分より、ここが成長した」と、自分と言える人がたくさんいることを楽しみにしています。今日からの後期、昨日までの自分に、一つプラスする。そんな毎日にしていきましょう。

